常盤の翠

志・寛・錬

発 行
令和3年12月24日
鹿児島市立伊敷中学校

失いたくない日本の文化と「思いやり」「寛容」の心

校長　河瀬　雅之

今年も立派な門松ができあがった。父親セミナーの皆様のご協力によるものである。子供たちが登校している時期から目に触れるようにとの思いから、例年この時期に作成してもらっている。昨年最後の縄掛け作業で締め方が分からず手こずった経験から、今年は事前学習して臨もうとしたものの、今度は膝の故障でしゃがむことができず、現場監督といってもただの記録係）に徹することになった。

門松作成の当日は冬型の気圧配置の影響を受け冷え込む中、たくさんのお父様お母様方にお集まりいただいた。参集された方々が皆「**コロナ禍でなければもっとこんな機会が作れるのに。**」**と言ってくださるのを聞き、とても有り難い気持ちになった。**

早いもので今年も後一週間余り、新しい年が近づいている。正月と言えば年賀状がつきものだったが、生徒に聞いてみると、ほとんどの生徒は年賀状を書かないと答えた。**子供たちの中では年賀状を書く文化は、スマホに置き換わっているようである。**自分自身はどうかというと、手書きでやりとりする機会はぐっと減ったと思う。連絡の多くは、電子メールやラインを利用することが増えた。隙間時間でもパパッと書くことができ、書きかけ文書を後から追加修正することも簡単で大変便利である。

一方、時たま**自筆の手紙を書く機会が訪れると急に緊張感が高まる。誤字脱字や相手にとって失礼に当たる言葉がないか、推敲を重ねるため時間がかかる。**メールの場合には、スピード優先で誤字脱字が残ったまま、ポチッとやってしまい、後から訂正メールを入れることもしばしばである。便利さを享受するだけでなく、**その向こう側の人に思いを馳せ大切にする、手紙の文化は失ってはならない**と思う。

それと少し関連することだが、**2学期は、生徒同士のネットトラブルが多かった。**その様態は様々であるが、その多くに共通するのは**送り手があまり意識せず書いてしまった一言が受け手側を傷つけ人間関係がこじれる**という点であった。このようなトラブルを回避するには、次の二点が大切なような気がする。

一つは送り手として、相手にとって気になる表現はないか、送信する前にもう一度読み直すということ。そして、**もう一つは受け手として、書いてある内容に反応する前に、もしかしたら自分も同じような送信をしてしまっているかしれないという気持ちでやり過ごすということ。**

「思いやり」と「寛容」この二つがあれば人生随分と楽になる。

この度不本意ながら、膝の手術で予定を大幅に超える入院生活となり、多くの皆様に迷惑をかけてしまった。

おそるおそる月ぶりの登校は少し不安であったが初登校の朝、一年生の男子生徒がすっと近づいてきて、「お荷物 持ちましょうか。」と声をかけてくれた。とても心温まる一言だった。

言葉は人を傷つけもすれば勇気づけもする。そして温かい言葉は回り回って自分に返ってくる。私自身も温かい言葉の貯金を心がけたいと思う。それでは皆様どうぞ良いお年をお迎えください。

伊敷中SDGs宣言

父親セミナーの皆様　寒い中ありがとうございました

本校の14日(火)、SDGs達成に向けた取組について、生徒らから説明がありました。生徒連携で採択された持続可能な開発目標のことです）。

本校が力を入れている取組です。徒のみなさんは、是非1年1階の設営を見てください。校の取組が詳しく展示されるSDGsコーナーがあります。活動をしています。我々職員も、可能な限り裏紙を使うなど、一つ一つの行動に心がけています。

生徒会の皆さんが、そのような地域の課題に向き合おうと、現在一年生は「栄門地域活性化プロジェクト」に取り組んでいます。具体的な取組内容は、今後生徒たちの話合いにより決まります。先日の授業では、「地域の魅力を上げるためにゴミ拾いをしよう！」「ゆるキャラをつくってアピールしたい！」などの意見があり、一月にがご活動をするか、こう御期待です。

生徒会 入試激励会

21日(火)、生徒会による入試激励会が行われました。

三年代表の峯苫君と町田さんが、「三年生に送る言葉を生徒会全員で考えました。」と挨拶をしてくれています。

第2回 避難訓練

11日(土)、今年度2回目となる事前予告なしの訓練を行いました。今回の訓練は、震度5強の地震があったと考えて、一番大切なのは一週間防災グッズの準備をすることでした。

災害を想定した日頃の冷静な行動です。

生徒は予告なしで当日の場所から校舎を見ると、全員が避難できました。

震度5強の場合は避難経路を確保するために開けます。）。生徒同士で「火事だ！」と呼びかけながら窓を閉めます。

集合場所では、煙の拡散を防ぐために、窓や扉を閉めます。逆に地震の場合、窓が閉められているなど、本校が目指す姿が見られました。

栄門地域活性化プロジェクト

保護者の皆様は、昔伊敷地域にも路面電車（いわゆる市電）が走っていたことをご存じでしょうか。

当時は西鹿児島駅（今の鹿児島中央駅）とつながっていたこともあり、今ではほとんどが廃止となってしまいましたが、路面電車は考えられないほど街が賑わっていたそうです。しかし、路面電車が廃止となった後は、その賑わいも少しずつ下火になってきたと聞いています。

新上橋線路下を通過する伊敷線

1月 主な行事予定

11(火)　始業式
　　3年卒業テスト(～13日)

18(火)　1・2年鹿児島学習
　　定着度調査(～19日)

21(金)　入学説明会

※　新型コロナウイルス感染症対策のため，行事等を変更する可能性があります。変更があった際は，その都度連絡をします。